

錆びつきがひどい キャリパーの分解に最適。

対向型キャリパーではブリッジボルトを分解せずに両方のピストンが抜けます。

◆特長

- ①ディスクブレーキをオーバーホールする時、中にはピストンが錆びついて、エアでも抜けないものがあります。このハスコキャリパーブレーキツールⅣ型は、ピストンシールが固着して抜きづらいピストンでも、簡単、確実、迅速にピストンを傷める事なく抜き取る事ができます。
- ②ピストンシールがはまるシール溝の頑固な汚れも、付属のヘラで楽々取れます。
※ブレーキパッドの片減りの主原因はピストンの固着による摺動不良です。

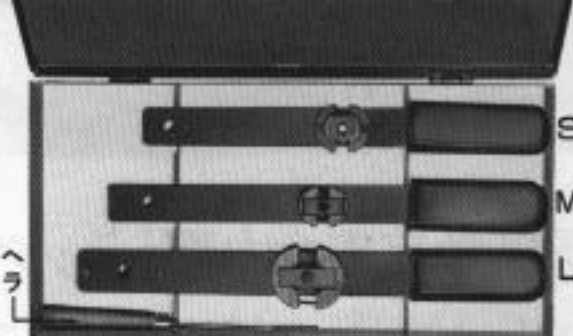
1ピストン型	使用方法	対向型
	<p>①固定およびピストンの押し込み まず最初にピストンをシリンダー内へ押し込んで下さい。特に対向ピストンの場合、両方のピストン共完全にシリンダー内へ押し込んで下さい。(注1参照)</p>	
	<p>②チャックAssyの選定および固定 ピストン内径に合ったチャックAssyを選定し、スパナで六角ボルトをしっかり締め込み、チャック部がピストンの内径に完全に固定された事を確認して下さい。(注2参照)</p>	
	<p>③ピストンの引き抜き ①レバーを左右に回しながら、力を入れてピストンを引き抜いて下さい。 ②錆びつきがひどく、ピストンがなかなか抜けない時は、もう一度①の作業を完全に行って下さい。その後、チャック部をレバーの先端部へ装着し直し、ピストンを引き抜いて下さい。(注3・注4参照)</p>	
	<p>④シリンダーおよびシール溝の洗浄 ピストンを取外した後、付属のヘラでシール溝に付着したゴミを丁寧に取除き、シリンダー内部を良く洗浄して下さい。又シリンダー入口近くに錆が発生している場合は、目の細かいペーパーで円周方向に磨き錆を完全に除去して下さい。</p>	

⑤ピストンシールの組付け

シール溝に再度、錆、キズ、ゴミがない事を確認して下さい。そして、指定の特殊グリスをシール全面、切れ目なく塗布し、指先で丁寧に溝に入れて下さい。その際、シールのネジレおよび部分的出っばりがない事を確認して下さい。

⑥ピストンの装着

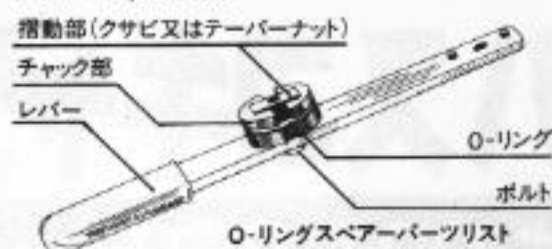
ピストンを挿入する際には、ピストンにキズおよび異物の付着がない事を確認して、エアブリーダーを緩めた上で、ピストンの端面(パッドに接する面)全面に力を加えて、シリンダーの端面まで押し込んで下さい。ピストンを傾斜させたり、ピストンをコジルような押し込み方は絶対にさけて下さい。(注5参照)



適合チャックAssyとピストン内径

チャック Assy S 19φ~26φ……軽自動車・小型自動車
チャック Assy M 26φ~40φ……小型自動車
チャック Assy L 40φ~57φ……小・中型トラック
大型乗用車

チャックAssy各部名称



O-リングスペアパーツリスト

チャックAssy	O-リング 型番
チャックAssy S	P-11
チャックAssy M	P-18
チャックAssy L	P-29

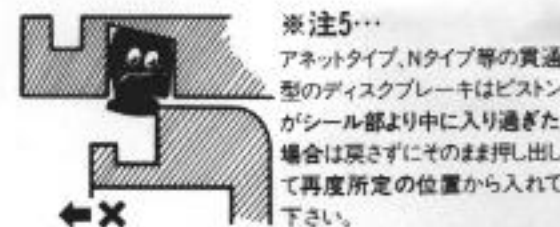
※注1…長い間、作動していないディスクブレーキでは、ピストンシールがピストンに固着し、押し込めない場合があります。この場合、ピストンとピストンシールを離脱させる為に、ピストンを垂直方向へ強く押し込んで下さい。又、対向ピストンの場合、両方のピストンが完全にシリンダー内へ入っていないと、ピストン抜き作業が出来ないのでご注意ください。

※注2…チャック部の摺動部(クサビ又はテーバーナット)にはモリブデングリリス等の潤滑剤を塗布してご使用下さい。

※注3



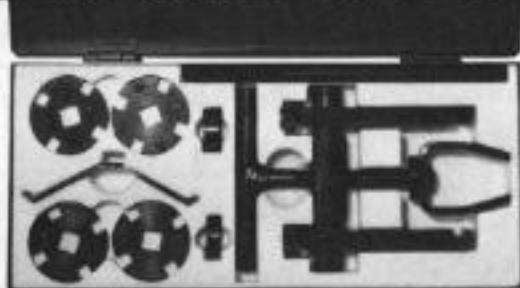
※注4…チャックAssyの状態ではピストンが、シリンダーより完全に引き抜けない場合は、引き抜けるところまで抜いた状態で六角ボルトを緩めて取外し、チャック部を分解してからピストンを取外して下さい。



※注5…アネットタイプ、Nタイプ等の貫通型のディスクブレーキはピストンがシール部より中に入り過ぎた場合は戻さずにそのまま押し出して再度所定の位置から入れて下さい。

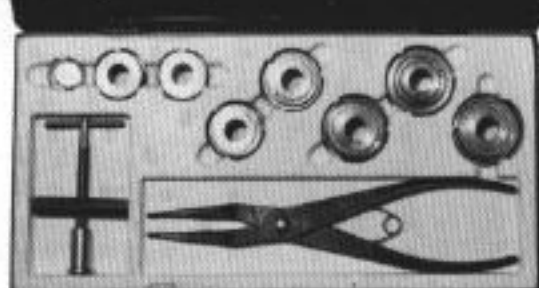
ハスコキャリパーブレーキツール シリーズ (特許出願中)

I型(型式/CBT-849)



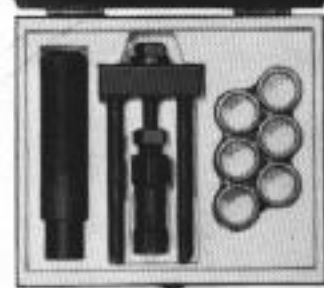
パーキング付キャリパー(ディスクブレーキ)のパッド交換と分解・組立が簡単にできる……

II型(型式/CBT-854)



パーキングクランク部シリンダー内蔵タイプのキャリパーの分解・組立が簡単にできる……

III型(型式/CBT-857)



ニードルローラーベアリングの抜き取り、挿入が簡単、確実、迅速にできる……